

重症心身障害児者等 医療型短期入所コーディネート業務

経過報告 〈2026年1月現在〉

社会福祉法人 陽光福社会
仙台エコー医療療育センター



社会福祉法人
陽光福社会

報告内容

- 県内の医療型短期入所事業所数、ベッド数
- 県内の医療型短期入所 実績報告（2024年分）
- 事業所が抱える課題



県内の医療型短期入所事業所 2025年4月現在

2019.10～
15歳未満対象↓

2023.4～
日帰りのみ↓

登米市立米谷病院

受け入れ休止中

大崎市民病院（本院）

15歳未満 利用
16歳以上は鹿島台へ

県北全域対象
（大崎圏域優先）

リバーサイド春圃

日帰りのみ→現在受け入れ休止中

石巻市民限定

石巻市立病院

者 宿泊リピーター増

あいの実ストロベリー

日帰り限定、利用者増

→有床診療所にして、宿泊受入を目指す
現在、入院ベッド申請審査中

2019.10～

↓15歳以上対象

大崎、登米、栗原
圏域限定

仙台エコ医療療育センター

児者 利用者集中

県立こども病院拓桃園

児 利用者集中

大崎市民病院鹿島台分院

16歳以上利用者相談増だが、
これ以上の受け入れ厳しくなってきた

太白ありのまま舎(福祉型強化短期入所)

児童から者 利用

日帰りのみ医療型短期入所開始

光ヶ丘スペルマン病院

者 利用者宿泊利用

国立病院機構宮城病院

仙台、県南、福島 利用者 増

国立病院機構仙台西多賀病院

児童から者 利用者 増
新規利用者受け入れ休止中

ハートワンケアショートステイ

日帰り限定

←2024.4～
日帰りのみ



社会福祉法人
陽光福祉会

県内の医療型短期入所 事業所・ベッド数

・ **医療型短期入所事業所数** **13事業所** **46床** (太白ありのまま舎含む)

内 宿泊稼働中 8事業所 28床

内 日帰りのみ稼働中 3事業所 16人定員 (太白ありのまま舎含む)

内 休止中 2事業所 2床

・ **福祉型強化短期入所** (太白ありのまま舎) **2床**

※こども病院は、福祉型・福祉型強化の受入もしている。



	事業所名	病棟名	入院基本料または体制	病床数	短期入所	内 短期入所 病床数	備考
1	宮城県立こども病院	拓桃館 2 階	一般病棟入院基本料 1 ・ 小児入院医療管理料 1	27	空床型	7	
		拓桃館 3 階	一般病棟入院基本料 1 ・ 小児入院医療管理料 4	54	空床型	3	
2	仙台エコー医療療育センター	1 病棟	障害者施設等入院基本料 (10:1)	42	併設型	3	
		2 病棟	障害者施設等入院基本料 (10:1)	38	併設型	2	一般入院 2
		3 病棟	障害者施設等入院基本料 (10:1)	40	併設型	3	
3	仙台西多賀病院	南 1 F- 1 病棟	障害者施設等入院基本料 (7:1)	40	併設型	1	
		南 1 F- 2 病棟	障害者施設等入院基本料 (7:1)	40	併設型	1	
4	宮城病院	中央病棟 1 階	障害者施設等入院基本料 (10:1)	60	併設型	2	
		中央病棟 2 階	障害者施設等入院基本料 (10:1)	60	併設型	2	
5	光ヶ丘スペルマン病院	II 病棟	急性期一般入院料 2	37	空床型	1	
		混合病棟	急性期一般入院料 2	43	空床型		
6	あいの実ストロベリー		(無床診療所)		単独型	10	日帰りのみ
7	ハートワンショートステイ		(無床診療所)		単独型	4	日帰りのみ
8	太白ありのまま舎		(福祉型強化、医療型は日帰りのみ)			2	医療型は 日帰りのみ
9	大崎市民病院	4 階南病棟	小児入院医療管理料 2	20	空床型	1	
10	大崎市民病院鹿島台分院	3 階病棟	地域包括ケア病棟入院料 1	40	空床型	1	
11	石巻市立病院	6 階西病棟	療養病棟入院料 2	40	空床型	1	
12	登米市立米谷病院		(受け入れ休止中)			1	休止中
13	リバーサイド春園	2 階	(介護老人保健施設)	31	空床型	1	休止中

稼働している11事業所 受け入れ状況

小児～就学前受入可能：宿泊可**4** 日帰りのみ**2**

小学生受入可能：宿泊可**6** 日帰りのみ**2**

人工呼吸器受入可能：宿泊可**8** 日帰りのみ**2**

IPV等排痰補助装置受入可能：宿泊可**6** 日帰りのみ**2**

入浴可能：宿泊可**8** 日帰りのみ**2**

日中活動支援加算算定：宿泊可**4** 日帰りのみ**2**

小児・児童期受入可能が限定的
→小児科医の対応できない
→西多賀病院は小児科医対応困難で新規受け入れ休止中

人工呼吸器類の受入が困難な場合も
→普段から人工呼吸器類の患者に触れていない
→人員不足も影響

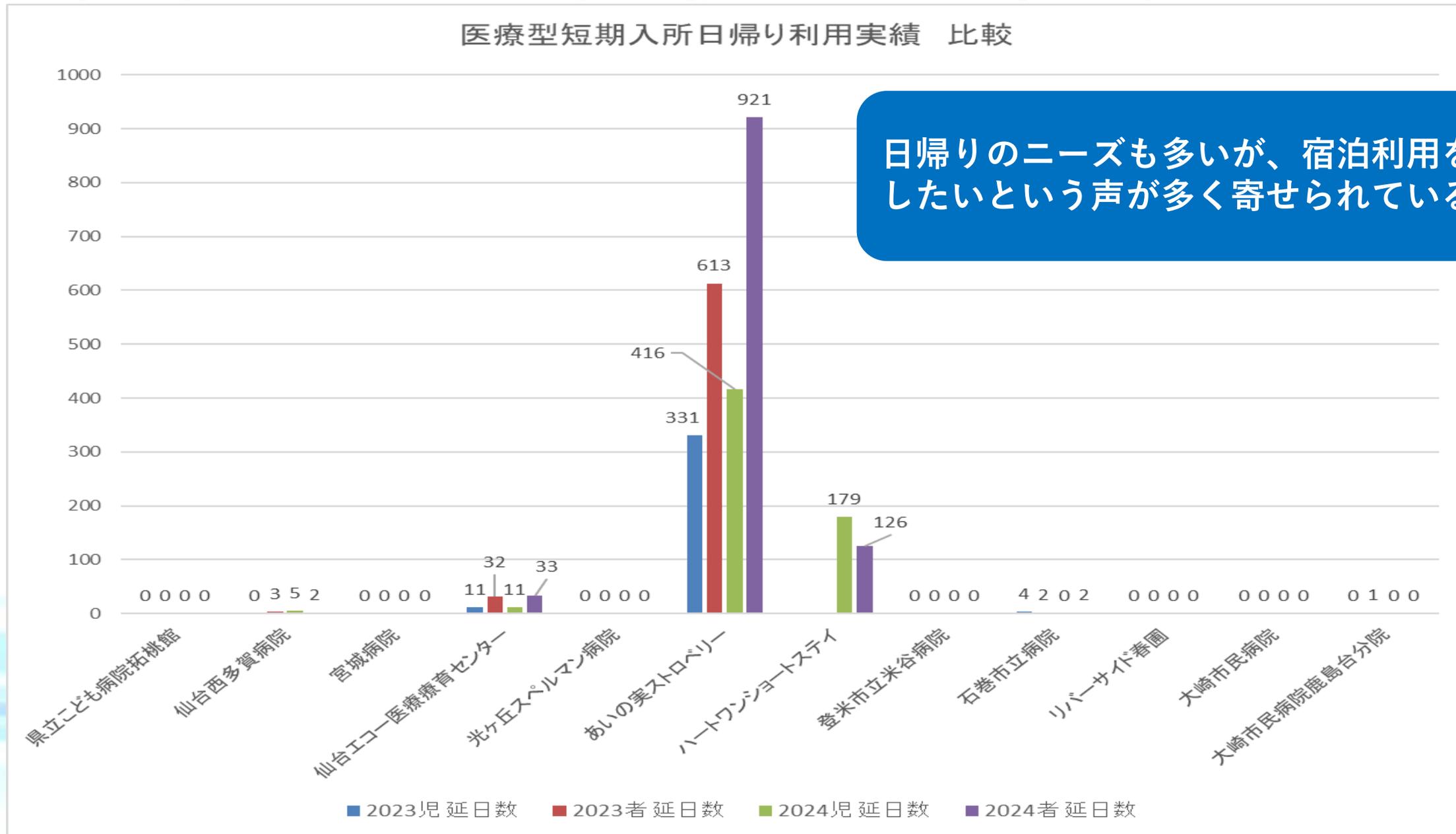
入浴対応が困難な施設も
→経費も上がり、人材や環境も整わず、実施している事業所も苦悩...。
→連泊希望者のニーズが満たせない

日中活動支援についても努力
→利用者本人にとっても充実感を
→短期入所中のリハビリは算定できないため、リハビリ的な活動提供もある

県内医療型短期入所実績

日帰り利用

医療型短期入所日帰り利用実績 比較

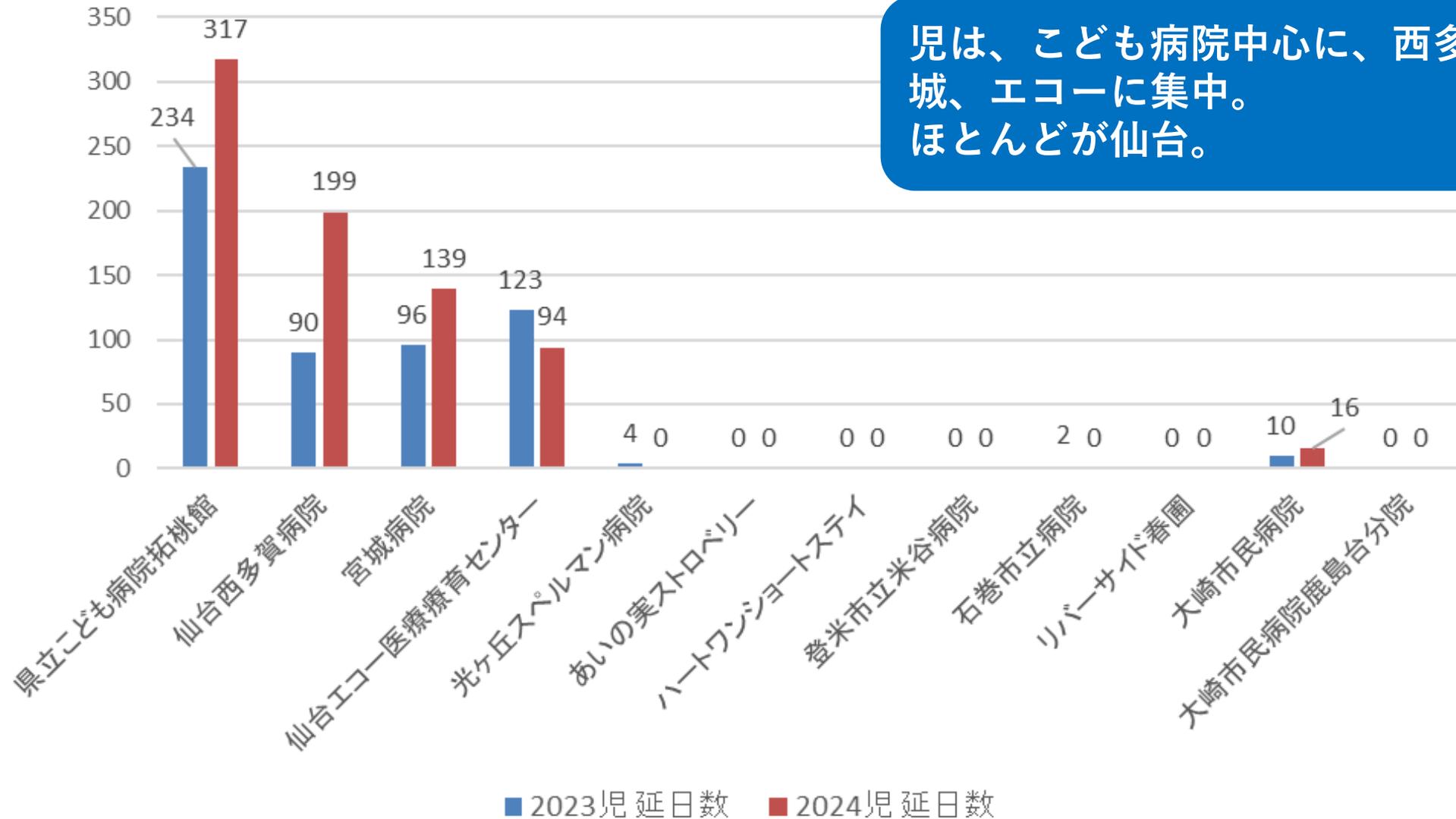


日帰りのニーズも多いが、宿泊利用を
したいという声が多く寄せられている。

県内医療型短期入所実績

宿泊利用 児

医療型短期入所 18歳未満利用実績 比較

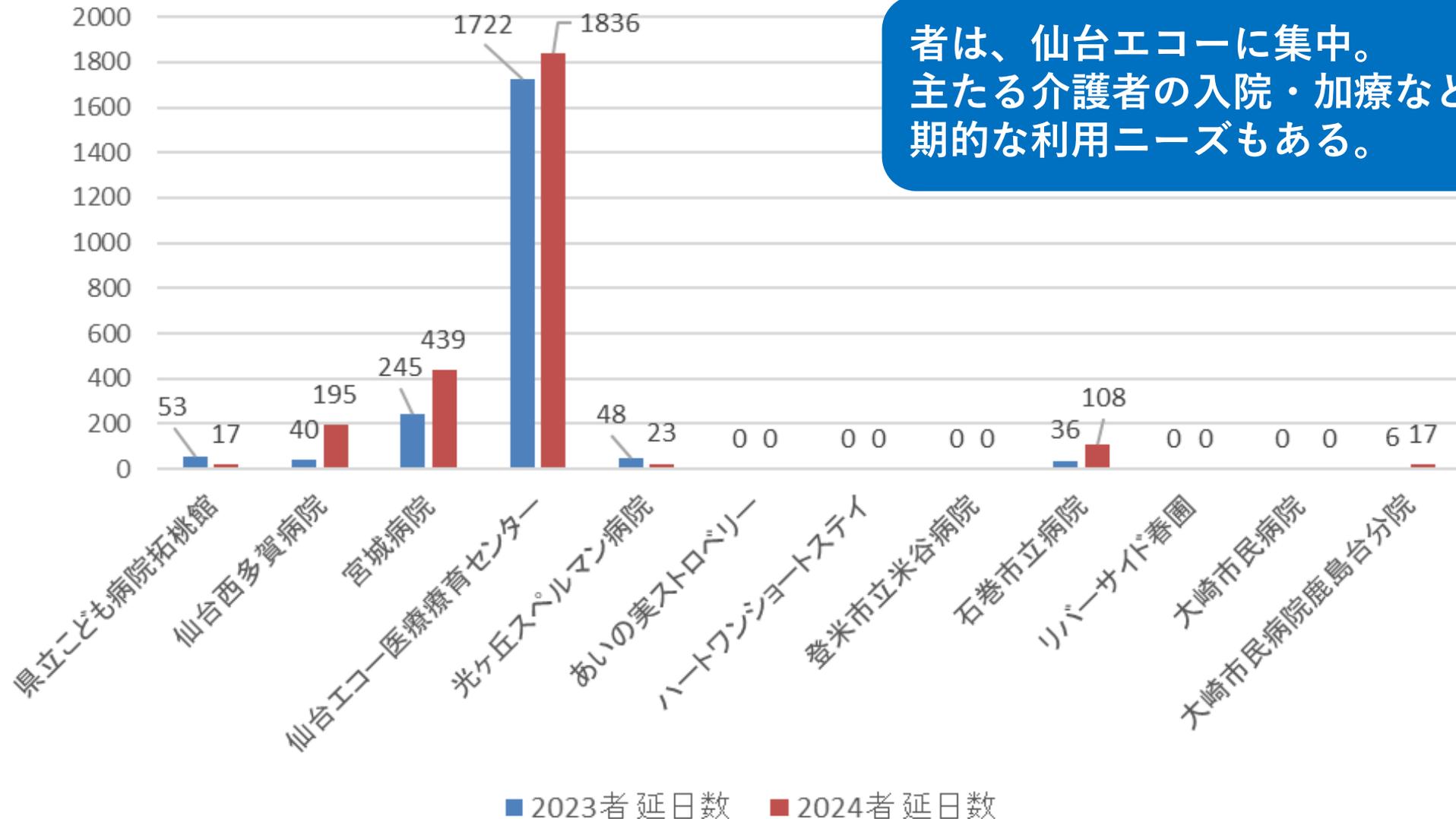


児は、こども病院中心に、西多賀、宮城、エコーに集中。ほとんどが仙台。

県内医療型短期入所実績

宿泊利用者

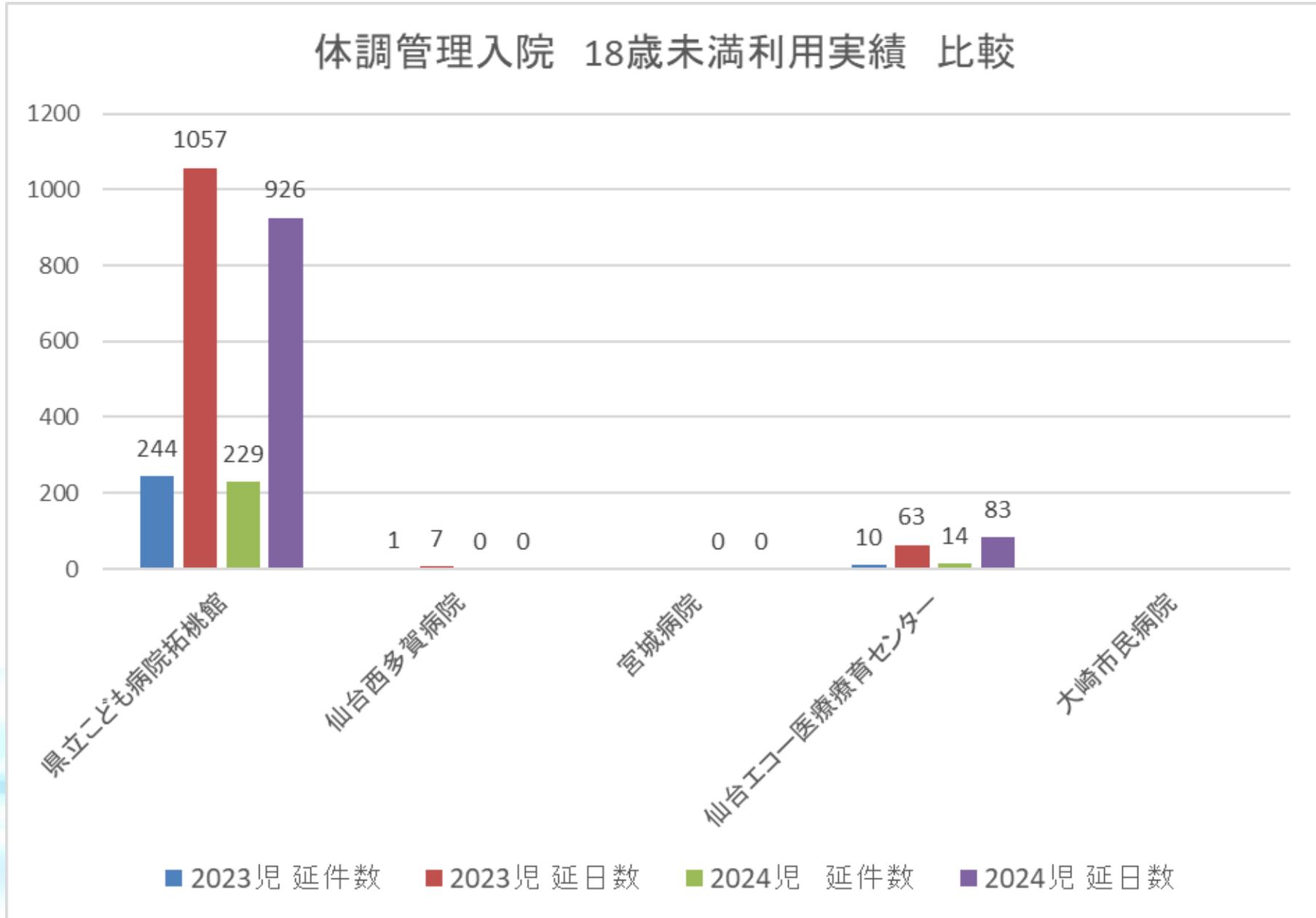
医療型短期入所 18歳以上利用実績 比較



者は、仙台エコーに集中。
主たる介護者の入院・加療など、中長
期的な利用ニーズもある。

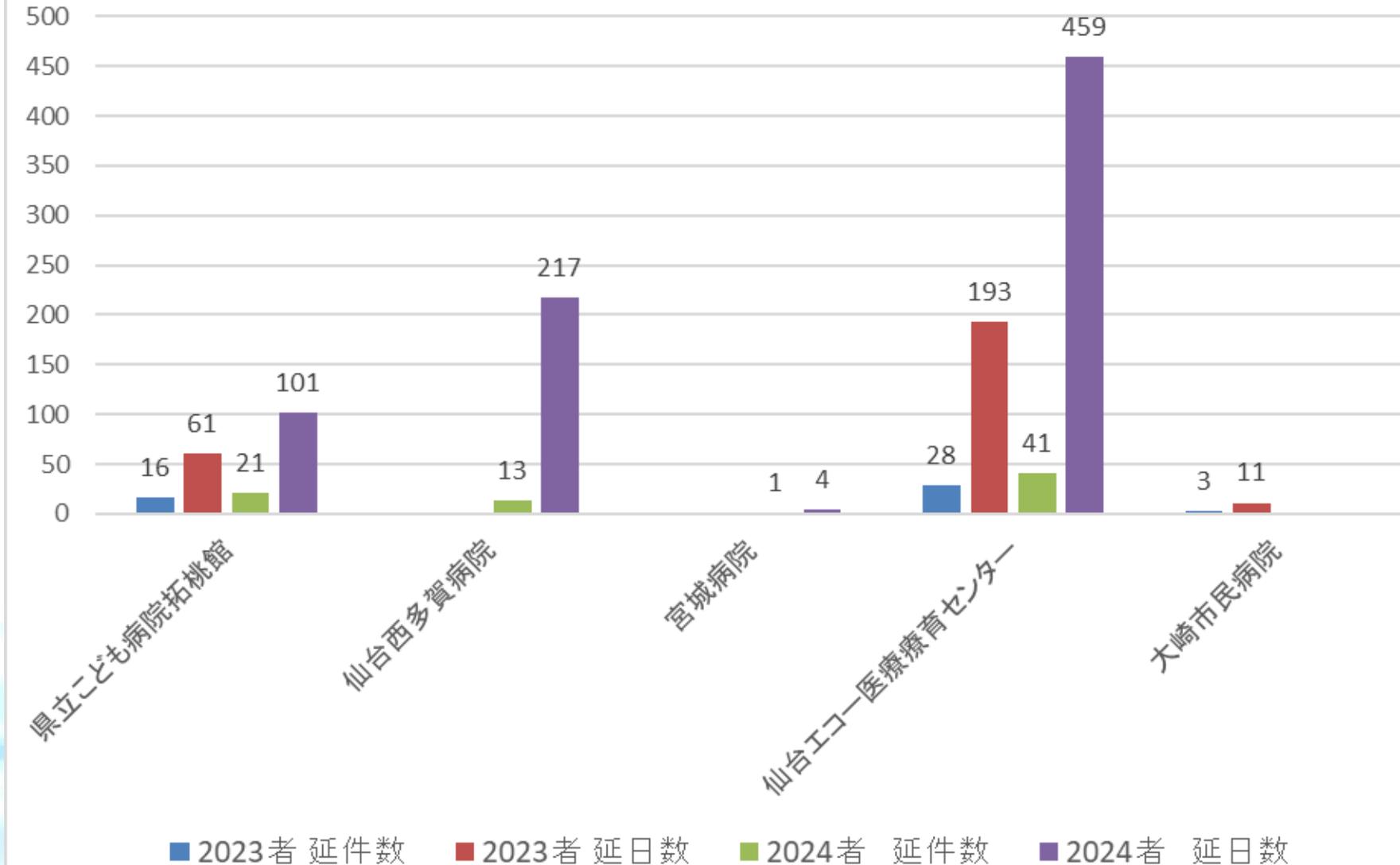
県内体調管理入院実績 児

体調管理入院 18歳未満利用実績 比較



県内体調管理入院実績者

体調管理入院 18歳以上利用実績 比較



医療型短期入所と体調管理入院

	医療型短期入所	体調管理入院（レスパイト利用）
基本的な報酬の対比	入院の方が報酬高い場合もある。	
診療	外来扱い	入院扱い 治療目的でも可能
薬の処方	基本自宅から持参	入院中の処方可能
医療消耗品など持参物	すべて持参	提供可能
リハビリ	算定できない （日中活動支援加算にて運動的な内容として介入することもある）	算定可能
日中活動	日中活動支援加算により提供可能	病棟の体制により提供しているところもある
利用中の生活介護併用	可能	不可
利用者側費用負担	障害福祉サービス費については、基本自己負担0円か、上限月額以内。 その他、食費など自己負担額あり。	<ul style="list-style-type: none"> ・負担額が高い方もいる。医療費助成（こども医療費助成、小児慢性、難病医療等）適用者は、負担額が安価。 ・上記医療費助成がないと、3割分（10万円近くにもなる方も）を自己負担。 ・心身障害者医療費助成所持者は、自己負担額（上記3割分）が3か月後に全額還付されることが多い。 ・世帯の所得制限により、心身障害者医療費助成がない方は、3割分完全に自己負担となり、一般入院はやめてほしいと希望される方もいる。

事業所が抱える課題 運営上の課題

- 昨今の物価上昇や光熱費の高騰により、経営を圧迫
- 短期入所以外の入院受け入れが多く、ベッドコントロールが困難な時がある。
- 空床型で運営し、事前に予約を取っていても、緊急的な入院によりベッドコントロールが困難になることもある➡地域医療構想の影響により、病床の削減と稼働率の上昇している状況
- 動ける方の安全を確保が難しい
- 居室のスペース確保 (車いすの大型化など)



事業所が抱える課題 人材の課題

- マンパワー不足
- 小児科医の対応が困難で、小児の受け入れが難しい。
- 看護師、介護福祉士など人材を募集しても応募が少ない。人員補充ができていない。
- 人工呼吸器、気管切開等、中心静脈カテーテル管理など医療依存度の高い方への業務負担



事業所が抱える課題 サービス提供上の課題

- 緊急的な受け入れはできる限り対応しているが、受け入れできないときもある。
- 成人期では、主たる介護者の治療に伴う中長期的な利用ニーズがあり、優先的な受け入れをしているも、複数重なる場合もある。
- 看護師、介護福祉士など人材を募集しても応募が少ない。
- 人員補充ができていない。
- 人員確保が困難で、入浴対応ができないこともある。
- 家族のニーズと病棟でできることのすり合わせの業務負担



まとめ

県内の医療型短期入所事業所数、ベッド数

- 実際稼働しているベッドは、48床中、宿泊28床、日帰りのみ16床
- 受入の病棟の体制は、各医療機関によって様々であることから、利用者に提供できるサービスに、ばらつきがある。

県内の医療型短期入所 実績報告（2024年分）

- 児、者共に、受け入れが仙台圏に集中していることに、大きな変化はない。
- 地域医療構想の変化の中で、寄せられるニーズを受けられるよう努力は続けられている。
- 医療型短期入所と体調管理入院のメリットデメリットに違いがあり、うまく使い分けしていく必要がある。

医療型短期入所事業所が抱える課題

- 全国ニュースでも言われている、医療機関の経営悪化は、県内も同じ。
- 医療職、福祉職の人材確保には、どの医療機関、事業所も困難な状況。
- 在宅で行われるケアを病棟で行えるケアとするために、事業所側では、ニーズの理解と方法の提案を工夫することが求められる。家族側には、受け入れのために、一緒に考えていただける時間と協力をお願いしたい。

医療型短期入所コーディネート業務の課題

- 医療的ケア児等総合支援事業を基盤とした関係各所との連携強化
- 宮城県医療的ケア児等相談支援センター
- 宮城県移行期医療支援センター
- あおぞら診療所ほっこり仙台



医療型短期入所コーディネート業務の課題

他の研修会と内容などについて整合性が取れると良いと考える。

- 医療型短期入所コーディネート業務研修会
 - 宮城県 保健福祉部 精神保健推進室
- 令和7年度 宮城県・仙台市 医療的ケア児等支援者養成研修
 - 宮城県医療的ケア児等相談支援センター
- 医療的ケア教員講習会、医療的ケア看護職員研修会
 - 宮城県教育委員会
- 宮城小児在宅医療実技講習会
 - 宮城県小児在宅医療協議会（仮称）
- 特別支援学校における研修会
 - 宮城県教育委員会





今後とも、ご理解ご協力の程、よろしくお願いいたします。
ご清聴、ありがとうございました。



社会福祉法人
陽光福祉会